

-----  
当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

-----  
タイトル：「バントゥ諸語のマイクロ・バリエーションの類型的研究 (2)」(令和2年度第2回研究会)

日時：令和2年8月22～24日(土～月曜日)午後8時より午後10時00分

場所：Zoom 会議システム

参加者：品川大輔，阿部優子，李勝勲，梶茂樹，安部麻矢，若狭基道，宮崎久美子，牧野友香，米田信子(22, 23日)，古本真(23, 24日)，青井隼人(24日)

「バントゥ諸語声調マイクロバリエーションのパラメーター資料作成ワークショップ」

各日の活動内容は以下のとおり。

・8月22日(土曜日)午後8時より午後10時00分

現在、メンバーが執筆中の研究言語の声調についての論文に関し、梶茂樹氏(AA研共同研究員、京都産業大学)から編集方針の説明、術語の統一についての議論が行われた。各参加者から質問を全体でシェアした。

・8月23日(日曜日)午後8時より午後10時00分

李勝勲氏(AA研共同研究員、国際基督教大学)主催の、"Processing tonal data using Praat"という題目でミニワークショップを開催したところ、参加者全員がワークショップに参加し、音声データ処理に必要な準備や、実際にPraatを使ってscriptを実行するなど、データを用いた実践を行った。

・8月24日(月曜日)午後8時より午後10時00分

李勝勲氏(AA研共同研究員、国際基督教大学)主催の、"Processing tonal data using R"という題目で、23日に行った音声データをさらに分析するための統計プログラムRについて紹介してもらった。

その後、ブレイクアウトルームに分かれて、参加者同士が執筆論文について質問をする部屋、論文執筆のための部屋、統計プログラムR講座の部屋の3部屋に分かれてワークショップを行った。

今回のミーティングは、声調に関する論文の提出・編集後の12月頃に行う。その際は、執筆論文に基づいた声調の類型についての議論を進める。